

7月13日全校朝会講話 ～「学校生活のあいいうえお」を振り返る～

いよいよ、1学期も最後の週となりました。東京の梅雨明けも間もなくのようです。二十四節気では「小暑」の時季とされ、本格的な夏の暑さが始まるころ、蟬の声が聞こえ始めるころとされています。周囲の様子に気を付けてみてください。。

さて、先週、あるクラスの授業の様子を見に行った時に感心したことがありました。そのクラスでは、先生が配ったプリントを後ろの席の人に渡すときに、「はい、どうぞ。」と言いながらプリントを渡していました。

配られたプリントを後ろの席の人に渡すとき、よく見かけるのは、後ろを振り向いて渡す場面です。しかし、時には、後ろも振り返らず、自分の頭越しに渡したり、プリントを勢いよく振り回して渡したりする場面も見かけたりすることもあります。そんな場面を見ると、もしプリントが後ろの人の眼に当たったらどうなるんだろうと心配になります。

「はい、どうぞ。」と一声かけながら、体を向けてものを渡す。小さなことですが、それが、「次の人のことを考える」ということの表れのような気がしました。5年生の移動教室では、「ナイストス」という言葉が、学年の目標になっていました。きっと同じような意味をもっていたのだと思います。

4月の始業式では、「学校生活のあいいうえお」について、お話をしました。「お」は、思いやりの「お」です。次の人のこと、周りの人のことを考えた言葉遣いや行動ができたかどうか。いじめのない学校、いい学年やいい学級を自分たちの力で作っていくために、なにができたかを考え、振り返る、そのような1週間にしてほしいと思います。